



GEO CAFE
vol.8
OPEN!

第8回 ジオカフェ開催

なにを、 パブリック

そも

そも



～地域資源を見直すジオパークの魅力を考える～

今年度、第1回目のジオカフェでは、そもそもジオパークとは何ですから始まります。和歌山県紀南地域で南紀熊野ジオパークが昨年に認定されました。皆さんは行かれましたか。そこではどんなことをしているのでしょうか。ジオパークという言葉を知ることが多くなりましたが、まだまだ知らない方が多いのではないのでしょうか。そこで今回は日本ジオパーク委員会の中川和之さんをゲストにお迎えして、日本のジオパークの現状やこれからのことについて皆さんにもわかりやすく、サイエンスカフェとしてトークします。お相手は此松昌彦さん(和歌山大学)です。

1987年東海大学卒業、1996年大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、蒜山地質年代学研究所へ就職。和歌山大学教育学部教授、和歌山大学防災研究教育センター長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育。和歌山県では新生代の地質、特に第四紀の古環境について研究。学校や地域での防災教育プログラムを開発。最近では南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポート。ジオパークから地域住民が、住んでいるところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。

KONOMATSU MASAHIKO

此松昌彦



NAKAGAWA KAZUYUKI

中川和之



1981年日大卒、同年時事通信社入社。2013年7月から現職。科学記者として気象庁担当などを通じて地震や火山、災害対応を学ぶ。出身地の阪神間での地震をきっかけに、記者としてだけでなく、市民の立場から災害対策のあるべき姿を模索し、中央防災会議や内閣府、厚生労働省などの各種委員会の委員を務める。日本地震学会で災害と自然の恵みの両方を次世代に伝える「地震火山こどもサマースクール」の活動を続け、日本ジオパーク委員会に地震学会から委員として参画。災害に関わるNPOの役員なども務める。

平成27年 **5月16日(土)** 先着25名
17:30～19:30 (開場17:15)



和歌山県立情報交流センターBig・Uにて
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9

飲み物は各自で
ご購入頂きます

**参加費
無料**

申込方法・問い合わせ先

申込方法：氏名、連絡先等の必要事項を下記の申込先へメールまたはFAXにてお申し込みください。

申込期限：平成27年5月15日(金) ※お申込頂かなくても当日お席に余裕がございましたらご参加頂けますが出来るだけお申込ください。

申込先：和歌山大学南紀熊野サテライト 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9-102

TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978 受付メール：nanki-office@center.wakayama-u.ac.jp

※記載の内容は変更することもあります。

ジオカフェ5月16日 参加申込み書

※事前お申し込みにご協力ください。

フリガナ お名前：	年齢：	性別： 男 ・ 女
住所：	電話番号：	
所属：	電子メール：	
当日聞いてみたい事をご記入下さい：		